

一般社団法人日本医療安全学会助産部会 第1回シンポジウム 「開業助産所の安全性と今後の可能性」

開催日 2024年7月28日(日) 13時10分から17時00分まで
会場 主婦会館プラザエフ
住所 東京都千代田区六番町15番地 (JR 四ツ谷駅麹町口から徒歩1分)

(シンポ名称) 開業助産所の安全性と今後の可能性

(シンポ様式) 主催：一般社団法人日本医療安全学会助産部会
後援：一般社団法人北海道助産師会、一般社団法人ドゥーラ協会
協賛：支援住民グループ「助産院に産声を@旭川」、一般社団法人日本産婦人科協会、
SBSK 自然分娩推進協会、出産ケア政策会議

(シンポ代表者氏名) 弁護士 井上 清成

(問い合わせ先) 井上法律事務所 TEL: 03-3509-1711

(目的) 全国的な嘱託医療機関・嘱託医の不足の下で、いかにして、開業助産所は安全性を確保しつつ、各地方・地域の活性化や少子化対策に寄与して行ったらよいのであろうか。

(概要) 演者・プログラム内容等

シンポジウムの開催概要は、以下のとおりである。

■テーマ「開業助産所の安全性と今後の可能性—信頼関係は医療安全にとって時に罣」

■プログラム (全体230分)

・ご挨拶 (20分)

井上清成 (一般社団法人日本医療安全学会助産部会長、井上法律事務所所長・弁護士)

「助産所も医学的管理の下において出産」

「旭川の嘱託医療機関不在問題—旭川裁判所の調停を経て」

・講演「北海道の産科医療における助産所活用に関する活動報告」(60分)

北田恵美 (助産院あゆる院長)

〈指定発言〉池下久弥 (5分) (医療法人社団友久会きりんウィメンズクリニック葛西 理事長)

〈休憩10分〉

・講演「出産の安全性—開業助産所を中心として」

1. 助産所が目指す出産の安全性 (15分)

高室 典子 (助産院エ・ク・ポ院長、一般社団法人北海道助産師会代表理事)

2. 都市部の助産院における安全性の確保 (15分)

宗 祥子 (松が丘助産院院長、一般社団法人ドゥーラ協会代表理事)

3. 助産行為の必要性和医療安全 (15分)

荒堀 憲二 (高山赤十字病院周産期母子・小児医療センター長、SBSK 自然分娩推進協会代表)

4. 助産師活動の拡充と助産法整備 (15分)

中村 薫 (一般社団法人日本助産所会嘱託医師)

5. LMC助産師の意義と課題 (15分)

古宇田 千恵 (出産ケア政策会議代表、日本妊産婦支援協議会りんごの木代表)

〈休憩10分〉

・シンポジウム「嘱託医療機関問題、その他開業助産所の安全性とその拡大する可能性について」(40分)

座長・井上清成、演者・すべての講演者（指定発言者も含む。）

・閉会（10分）

井上清成（一般社団法人日本医療安全学会助産部会長、井上法律事務所所長・弁護士）

開催方法：現地開催 * Web 参加はありません。当日の写真撮影・録画・録音は禁止いたします。

定員：100名

参加費：無料

運営：一般社団法人日本医療安全学会助産部会員

申込方法：下記オンラインフォームによる申込（申込締切：2024年7月21日（日））

<https://forms.gle/McPesmWk1iGFpAYy6>